
折り紙でつくる七夕飾り

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 七夕の伝統行事にちなみ折り紙で七夕飾りを作る。
- 期間 平成28年7月2日(土)
- 時間 午後2時～午後4時 (計2時間)
- 対象・定員 市内在住の幼児・小学生と保護者・30人
- 参加者 21人
- 講師 栗原公民館サークル新座折り鶴の会講師
日本折り紙協会講師 本多 秀子
アシスタント 浦田 幸恵
- 事業内容 七夕の笹飾り(折り紙で作る織り姫・ひこぼしと笹飾り)
を折り紙でつくり、笹を各自持ち帰り、家で飾る。
- まとめ

講師の説明を受け、七夕飾りを折り紙で彦星、織り姫と他2種類を折った。折り紙を星、顔、着物の順番で折っていった。星飾りは、折り方が高度だったが、親子で折り紙を丁寧に折っていった。サインペンで顔になる部分に目や口を書いた。折り方は、一つ一つ丁寧に説明があり親子で楽しんでいた。夏の夜にふさわしい七夕飾りで、かわいらしい彦星、織り姫が完成した。お土産に家で飾れる小さな笹をプレゼントし喜ばれた。アシスタント1名が付き、ひとりひとり丁寧に教えていただいたので、予定時刻より30分早く仕上げる事ができた。家族や、親子で参加する人が多く、家族で協力してかわいい七夕飾りが完成した。

親子そば打ち体験

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 夏休み中の親子を対象にそば打ちを体験。
- 期間 平成28年8月17日(水)
- 時間 午前10時～午後0時30分 (計2時間30分)
- 対象・定員 市内在住の親子・10組
- 参加者 10組 25人
- 材料費 1500円
- 講師 満留賀 店主 柴田 忠尾 他アシスタント3名
- 事業内容 講師がそばの打ち方、切り方を実演し、それを全員が見学した。その後、それぞれの親子が講師の指導を受けながらそばを打った。打ったそばは、その場で茹でて試食した。
- まとめ
材料、道具は、講師が当日持参した。講師が最初にそば打ちのお手本を見せた。そば粉は、全体をかき混ぜ、2500gの水を2回に分けて入れ、少しずつそば粉に混ぜていきだんだんとダマになってきたらひとかたまりにする。その生地を花のような形(菊練)からへそだし(円すい形にする)、押しつぶしまでの丸い形にしそば生地を作る。そば生地を円になるように10円硬貨の厚さに伸ばし折りたたんでそばを包丁で、板をあてがい切っていく。
実演後、班ごとに講師とアシスタントが粉のこね具合や厚さなどの声をかけながらアドバイスを受けそばを打った。
ゆであがったそばを、食べてそれぞれの親子が生そばのおいしさを口にした。
受講者からそば打ち体験を、子どもの小学校の自由研究にしたいと話があった。

親子とうもろこし収穫

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 収穫体験を通じ、食について考えると共に地元の農業について考える機会としたい。
- 期間 平成28年7月16日(土)
- 時間 午後2時～午後3時 (計1時間)
- 対象・定員 市内在住の親子・20組
- 参加者 親子24組 67人
- 参加費 一家族1,000円
- 講師 農業 原井 正治
- 事業内容 公民館ロビーに13時50分に集合し受付を行い、畑まで約3分歩いて移動した。はじめに原井さんからとうもろこしの実の付き方や収穫時期の見極め方などを教えてもらい、とうもろこし畑に入って収穫体験を行った。その後、予め準備しておいたとうもろこしを試食した。

○まとめ

梅雨時期で天候が心配されたが、曇りで暑くもなく収穫体験には適した日だった。

子どもがとうもろこしを採るときに親が手助けしたり、とうもろこしをうれしそうに収穫している子どもの姿などを写真に収めるなど、思い出作りができた。

収穫後、事前に蒸しておいたとうもろこしを喜んで試食していた。原井さんが用意した糖度計で甘さを測定したら15度もあった。今回収穫した品種は「味来」という品種で甘みが強く、生でも食べられるので試食していた。

親子さつまいも掘り

〈栗原公民館〉

○開設趣旨 新座の地元農家の畑での収穫体験を通じ、食について考えると共に地元の農業や観光について考える機会としたい。

○期間 平成28年10月15日(土)

○時間 午後2時～午後3時 (計1時間)

○対象・定員 市内在住の親子・12組

○参加者 親子25組 82人

○参加費 一家族600円

○講師 農業 原井 正治

○事業内容 公民館に午後1時50分に集合し、原井さんの畑まで歩いて行き、開講式を行った後、さつまいもの管理や調理方法などを学んだ。あらかじめさつまいものツルを刈ってもらった場所を一組に4株ずつを割り当て、掘り方を教えてもらい掘りあげた。その後、予め蒸かしたさつまいもを参加者で食べた。収穫したさつまいもをそれぞれ持ち帰った。

○まとめ

当日は、天気に恵まれ講師の原井さんが、予めツルを刈って、4株ずつ白線を引いておいてくれたので、すぐに掘り始めることができた。皆が持参したシャベルで真剣に掘り、掘り上げた大きなさつまいもに歓声をあげる子ども達を写真やビデオに納め、秋の一日を楽しく過ごした。

午前中に、ブロックで作ったかまどに薪を焚いて試食用としてさつまいもを蒸かしておき、試食として作業が終わった後、参加者が畑で食べた。

参加者からは、楽しかった、また来年も参加したいとの声があった。

夏休み親子地球観察隊

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 小学生の親子を対象に自然に触れ、環境を守るたいせつさについて学ぶ
- 期間 平成28年8月3日(水)・4日(木)・5日(金) (計3回)
- 時間 1日目 午前9時30分～正午
2日目 午前10時～正午
3日目 午前8時～午後5時 (計13時間30分)
- 対象・定員 市内在住小学生の児童と保護者・20組40人
- 参加者 親子8組 20人 参加延べ人数64人
- 講師 荻原 洋志・櫻 博子(環境教育支援ネットワークきづき主宰)
跡見学園女子大学インターンシップ2人
第六中学校ジュニアリーダー1人

○事業内容

- 1日目 公民館近くの黒目川の「板のテラス」で、川の水質調査と生き物の観察をする。
- 2日目 自然を生かした木の実を使った工作。エコや環境について学ぶ。
- 3日目 館外学習(茨城県古河市セキスイエコファーストパーク、住まいの夢工場)

○まとめ

1日目は、栗原公民館一丁目公園の黒目川沿いで川の水質検査の方法を聞きながら水質検査を行い、川の水の透明度を調べた。川あそびでは、あみを持って魚やアメンボを捕り魚の名称を確認し勉強することが出来た。その後、お母さん達に協力してもらいすいか割りを行った。用意したスイカを子ども達に食べてもらい親子で楽しむことが出来た。

2日目は、それぞれの自然を生かした木の実を使った工作を行った。工作では、館が用意した木に自分の好きな木の実を選んでボンドで貼り、絵具やマニキュアを塗って工作に取り組み、個性的な作品を仕上げた。また、エコについて話を聞き、家で工夫しているエコについて考え、カードに記入しエコの木を作った。親子で取り組んだ工作をロビーに展示した。3日目が館外学習のため修了証書授与式を行った。

3日目は、茨城県古河市にある積水ハウス 住まいの夢工場 ゼロエミセンターを見学した。積水ハウス内のエコライフファーストパークへ到着した後、風の家では、家の中の温度と風について学び、家中の温度を記入し一番高い部屋の温度や風の通り道を調べた。

その後、東日本大震災で使用出来なくなった材木を利用し巣箱作りを行った。家の構造や耐震住宅と免震住宅の違いを学び地震のシュミレーションで地震体験を行った。環境学習をしながら、親子での楽しい思い出の3日間になった。

C02 削減緑のカーテンで夏を涼しく

〈 栗原 公民館 〉

- 開設趣旨 ゴーヤでグリーンカーテンを作る方法を学び環境対策について考える。

- 期 間 平成28年6月16日（木）

- 時 間 午前10時～正午 （計2時間）

- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人

- 参加者 11人

- 講師 環境まちづくり地域協議会 in にいざ
 櫻 博子
 荻原 洋志

- 事業内容 暑い夏を楽しく乗り切る方法として、ゴーヤでグリーンカーテンを作る方を学び、環境対策について考える。

○ま と め

ロビーの椅子を移動させ、スクリーンを設置して実施した。地球温暖化の影響について説明を受けた後、植付け用土の選び方や肥料のやり方、芯の摘み方、ネットの張り方など具体的なゴーヤの栽培方法を教えていただいた。また、受講者がエコライフチェックシート夏版に記入し、日頃のエコライフについて見直しを行った。ゴーヤを使った料理の紹介は、「美味しいゴーヤのピクルス」の作り方を教わった。ゴーヤを使った料理では、レシピが簡単で作りやすくとても満足のいくお話しだった。受講者からは、地植えの場合の土作り、ポットから移植する場合のつるの扱い方、台風など強風への対策、ゴーヤ料理などの質問があった。昨年に引き続きロビーでの講座であったが、出張所に用事があったり来館した人が飛び入りで参加するなど、ロビーでの講座の利点があった。最後にゴーヤの苗をプレゼントされた。グリーンカーテンの効用により C02 削減を市民に広めていくために有益な事業となった。

世界の文学を通しての人間探究 ヘミングウェイ文学における人間

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 アメリカ文学を通して人間について深く知る。
- 期間 平成29年1月13日・20日・27日 金曜日 (計3回)
- 時間 午前10時～正午 (計6時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・50人
- 参加者 41人 参加延べ人数109人
- 講師 東京都立大学名誉教授 村山淳彦
- 事業内容 ヘミングウェイの作品をいくつか読み直し、そこに見られる男性としてのこだわり、アメリカ人と異民族、戦争や革命と人間などといった主題について考える。

回	月 日	内 容
1	1月13日(金)	ヘミングウェイの生涯とその時代
2	1月20日(金)	『武器よさらば』を中心に
3	1月27日(金)	『誰がために鐘は鳴る』を中心に

○ま と め

ヘミングウェイはもっともポピュラーなアメリカ人作家のひとりである。シカゴ郊外の開業医の家庭に生まれ、新聞記者として就職したが、イタリア軍の米赤十字部隊に志願入隊し、イタリア戦線で重傷を負い死にかける。復員後、トロントで記者として就職をする。

二度の結婚。父親がピストル自殺をし、父親の自殺を非難するが、最後はヘミングウェイも自殺してしまう。

「日はまた昇る」が出世作となり、その後数々の作品を世に送り出す。

「武器よさらば」は、第一次世界大戦を背景に恋愛の物語。

ヘミングウェイは、アグネスと恋愛したが成就しないままに終わってしまう。

「武器よさらば」も主人公フレデリック・ヘンリー中尉は、キャサリン・バークリーと知り合い恋愛にはまっていく自叙伝である。

「誰がために鐘は鳴る」は、スペインでの4日間のできごとを描いた作品。主人公ロバート・ジョーダンがマリアと恋に落ち、最後は、マリアたちの逃走を助けるために敵軍に単独で抵抗する決意をしたが、発砲する直前で作品は終わっている。

ヘミングウェイの生涯を時代背景と共に講義していただいた。

受講者からは「ヘミングウェイの生涯と時代気質がよくわかった」「一人の作家を取り上げた事で、より深く知る事ができた」などの感想があった。

人権学習

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 人権問題について考える
- 期間 平成28年10月22日(土)
- 時間 午後10時30分～正午 (計1.5時間)
- 対象・定員 公民館活動サークルの方・64人
- 参加者 41人
- 教材 「ヒーロー」約34分
- 事業内容 第2回利用者懇談会の後半に生涯学習スポーツ課から借りたビデオを視聴した。
- まとめ

無縁社会と家族を題材にしたDVDだった。主人公は、働き盛りのサラリーマンで、地域社会と縁を持たなかった主人公が、見知らぬ少年が他の少年に囲まれ、ポシュエットを川に投げ捨てられるのを目の前で目撃するが何もできなかった。そんな時、町内会長から、一人暮らしの女性に老人会への誘いのチラシを届けてほしいと頼まれ、地域と関わるようになり、今まで意識しなかった近所の高齢者や家族と出会っていき、自分の家族との絆も深めていく内容だった。

身の回りの人権問題に対して、他人事にするのではなく、主体的に行動することの大切さを認識し、地域の人が一つの家族のように縁を結ぶことの大切さを実感させられた。

めだか学級 保育付講座

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 子育てについていろいろ学ぶなかで、仲間作りのきっかけとする。
- 期間 平成28年5月13日～7月1日 毎週金曜日 (計8回)
- 時間 午前10時～正午 (計16時間)
- 対象・定員 市内在住の2, 3歳児とその保護者 20組
- 参加者 18組35人 参加延べ人数113人 保育延べ人数96人
- 事業内容

回	日時	内容	講師
第1回	5月13日(金)	開校式 親子でリトミック	栗原公民館サークル まめちゃんズ 林 篤子
第2回	5月20日(金)	良い絵本と出会う	中央図書館司書 桜井 朋子 小堀 塩子
第3回	5月27日(金)	元ガミガミママの 親業講座	埼玉県教育アドバイザー 生駒 章子
第4回	6月3日(金)	女性の健康	助産師 桜井 祐子
第5回	6月10日(金)	こども110番の現場か ら知る子育ての知恵	こども110番相談員顧問 にしがはちだい
第6回	6月17日(金)	簡単安全おいしいおやつ	栗原公民館サークル 武蔵の友の会
第7回	6月24日(金)	おこずかい教育	ジブラルタ生命 高橋 省吾
第8回	7月1日(金)	子育ての悩み解決	臨床心理士 川平 恵子

○ま と め

めだか学級に初めて受講される方が多かった。8日間を通して子育てに役立つ講座が多く大変、勉強になり幅広い知識を学び違った視点でお話を聞き学習する幅が広がった。親業は、具体的に使えることを教わり実践できることを学んだ。めだか学級の受講者からは、「普段日常の子育てのことで不安や悩みを抱えることもあったが、幅広い知識を学び勉強になり子育てに参考になる講座が多く楽しかった。保育があるので集中して講座が受講出来た。」などの声を頂いた。又、「父として大変、ためになる講座ですぐに活用出来他の人に説明し伝えたい内容でこのような子育て講座があると育児にも安心して関われる。」今回、初めて男性の受講者がありお父さんの意見を聞くことが出来た。

子育て世代のお母さん方から普段とは、違った視点からの濃い内容の話だった。日々の子育てに具体的に使えることを教わり、日々の育児に実践出来ることを学んだ。

夏のハンギングバスケット

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 観葉植物を使った春のハンギング作りを学ぶ。
- 期間 平成28年6月22日(水)
- 時間 午前10時～正午 (計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 20人
- 費用 材料費 3,000円
- 講師 日本ハンギングバスケット協会公認講師 大塚 敦子
- 事業内容 夏の涼を呼ぶ バスケット作り
- まとめ

ハンギングバスケットに使用するポット苗を一鉢一鉢見せて説明しながら、観葉植物の名前、種類、生育の仕方やハンギングバスケットのどこに植え込むのか12株を丁寧に説明した。ポット苗は、植える順序を性質や色合いを考えて、1段目から天部まで配置していった。ハンギングバスケットの作成は、材料を整える→1段目を整える→2,3段目を整える→天部、仕上げと入り株のバランスを見ながらポットを外し根元を切りながたにし、前後左右を調整しながら講師の手ほどきを受けてハンギングバスケットを完成させた。

今回が初めての方が、5人受講され以前受講されている方とも協力し、夏らしい涼しげな作品が完成した。管理の方法、置き場所、肥料やりを学んだ。

秋のハンギングバスケット

〈 栗原公民館 〉

- 開設趣旨 観葉植物を使ったバスケット。
- 期 間 平成28年11月9日(水)
- 時 間 午前10時～正午 (計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 20人
- 費用 材料費 3,000円
- 講師 日本ハンギングバスケット協会公認講師 大塚 敦子
- 事業内容 年末に向けて華やかなハンギングバスケット

○ま と め

今回の材料は、パンジー、ビオラ、葉ボタン、カラーリーフなどを使った11月から来年の1月にかけて長持ちするハンギングバスケットを作った。事前に講座日を再度お知らせした。電話で確認連絡した事で受講者のキャンセルもなかった。ハンギングバスケットは、初めての受講者が5名参加し、前列の席で指導を受けた。

軽体育室にブルーシートを敷き詰め、4人ずつ、5テーブルをつくり、材料を予め手分けして配った。講師は、ハンギングバスケットの植え込み方を、一株一株丁寧に説明し植え込んでいった。

受講者それぞれが、秋から冬にかけての四季を感じる豪華なハンギングに仕上がった。

植え込み終了後、机の上と周りを協力して片付けたあと、管理の仕方を教わった。

春のハンギングバスケット

〈栗原公民館〉

○開設趣旨 ハンギングバスケットの作り方を学習し園芸に親しむ。

○期 間 平成29年3月22日(水)

○時 間 午前10時～午後0時30分(計2時間30分)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人

○参加者 20人

○費用 材料費 3000円

○講師 日本ハンギングバスケット協会公認講師 大塚 敦子

○事業内容 春の花を使い春らしいバスケット作り

○まとめ

講師が13種類の花の苗ポットを、一鉢ごとに花の名前、種類、生育の仕方を丁寧に説明し、参加者は植える順序、性質、色合いを考えて、1段目から天部まで植え込んでいきました。また、完成後のハンギングバスケットの管理のしかた、置き場所、肥料やりについても詳しく教えてもらいました。今回、初めての方の応募が8名ありました。受講者から「お花のことも詳しく説明していただき自分でお花屋さんに行って作ってみようと思っても上手にできないハンギングですが、先生のご指導がバスケットは、受講した事がなかったので講習希望しました。とても楽しかったです。」とのご意見を頂きました。J:COMテレビ取材があり講師も受講生も緊張感がありながらも楽しく和やかに講座でした。

木戸孝允 人と思想

〈栗原公民館〉

○開設趣旨 維新の三傑の総仕上げとして近代日本の黎明期に、日本のあゆみを運命づけた明治という時代を振り返る。

○期間 平成28年11月8日～22日 毎週火曜日 (計3回)

○時間 午前10時～正午 (計6時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人

○参加者 33人 参加延べ人数83人

○講師 東京女子大学非常勤講師 金子 元

○事業内容 「維新の三傑」の一人である木戸孝允の人物像と思想について解説してもらう。
第1回 幕末期の木戸孝允(桂小五郎)
第2回 薩長同盟から王政復古まで
第3回 明治期における木戸の思想と行動

○まとめ

申込者は51名だった。西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允の維新の三傑と言われている人物の最後のひとり木戸孝允を取り上げた。長州藩医・和田正景の子として生まれるが、7歳の時、隣家の桂九郎兵衛孝古の養子に入り桂小五郎孝允となる。のちに木戸孝允と改名。19歳で江戸に剣術修行にで、斎藤道場に入門し、塾頭を務め、水戸藩士と交流し、西洋式兵学も学ぶ。長州藩では、下士層・尊攘派に近いが比較的順調に出世をする。薩摩が長州に手を差し伸べ軍事同盟(薩長同盟)が成立する。「長州ファイブ」(井上馨・伊藤博文・遠藤謹助・井上勝・山尾庸三)が西洋に密航し、軍事技術を学ばせ帰国後、考え方を学ぶ。明治期に入り、由利公正が起草し、木戸らの修正を経て五箇条の御誓文が交付される。その後、藩籍奉還、廃藩置県が行われ、岩倉使節団へ随行する。明治10年5月、癌のため死去。9月に三傑の一人の西郷隆盛が、城山で自決。明治11年5月、残りの一人、大久保利通が、紀尾井坂で暗殺される。

歴史人物に学ぶ 伊藤博文

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 歴史人物の生きざまを通していかに生きるかを学ぶ。
- 期間 平成28年10月11日・18日・25日 火曜日 (計3回)
- 時間 午前10時～正午 (計6時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人
- 参加者 59人 参加延べ人数143人
- 講師 (株)人材育成顧問コンサルタント 鈴木 貞夫
- 事業内容 明治維新を経て、日本の初代総理大臣となった伊藤博文について学び、日本が歩んだ近代について考える。
第1回 幕末の長州藩と若き日の博文
第2回 激動の明治維新と博文の活躍
第3回 博文の「人となり」と生涯の業績

○まとめ

申込者は82名だった。伊藤博文は、日本をダメにした歴史人物7人の1人とも言われるが、日本の天下人3人の1人とも言われている。17歳で松下村塾に入り、木戸孝允、高杉晋作、久坂玄随他に出会う。その後、山尾庸三、井上馨、遠藤謹介、野村弥吉とともに長州ファイブと共にロンドンに留学し、世界を見るが、ロンドンタイムスを見て尊王攘夷を知り、半年で帰ってくる。28歳で兵庫県知事、明治17年、華族制度を作り、翌18年、内閣制度を定め、初代内閣総理大臣となり、大日本帝国憲法交付・発布に携わった。

ロシアの大蔵大臣との会談のためハルビン駅にて安重根に暗殺されるが、別人に暗殺されたという説もある。

フルベッキ写真を見せていただいたが、伊藤博文、西郷隆盛や高杉晋作らが写っているが合成写真ではないかとの説もある。

伊藤博文が幕末から明治にかけて大きな役割を果たしていることが今回の講義でよくわかった。

古事記を学ぶ

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 日本成り立ち古事記について解説する。
- 期間 平成28年6月7日～6月28日 毎週火曜日 (計4回)
- 時間 午前10時～正午 (計8時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人
- 参加者 79人 参加延べ人数295人
- 講師 学習院大学講師 林 東洋

○事業内容

- 第1回「八岐大蛇、須賀の宮」
- 第2回「稲羽の素戔、根の堅州国」
- 第3回「根の堅州国、八千矛神」
- 第4回「大国主神の系譜、国作り」

○まとめ

平成26年、27年に続き「古事記」の第三弾だったが、1回目の時に前回の概要を話していただいたので、初めて参加した方にもわかりやすかった。雨が降る中、熱心に受講していた。

西暦の話や夏至の話などの豆知識も取り入れ、毎回楽しい講義で、受講者も喜んで講座を聴いていた。

「因幡の白兔」の話など知っている話も登場し、毎回2時間では足りない位熱心な講義だった。

来年、4回目の日程も決まり、受講者からは、また来年も受講したいという声が多く、林先生の来年2月開催の講座「論語を学ぶ7」も受講したいという声が多かった。

来年の「古事記」が楽しみである。

論語を学ぶ7

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 孔子の人となりと思想について学ぶ
- 期間 平成29年2月7日～2月28日 毎週火曜日 (計4回)
- 時間 午前10時～正午 (計8時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人
- 参加者 77人 参加延べ人数247人
- 講師 学習院大学講師 林 東洋
- 事業内容 孔子とその弟子達との問答から儒教の教えを伝える「論語」について取り上げた講座の7回目になる。
第1回 「義」
第2回 「義」「利」「富」
第3回 「富」
第4回 「教」と「政」
- まとめ
第1回は平成24年度の第1回からまとめ「仁(と知)」「君子」「親子」「孔子の子」「顔回」「鬼神」「孔子の人となり」「徳」「道」「小人」「信」「忠」から始まり、「輪廻転生」、正しいことをすると金もうけに繋がるなどの講義。
第2回からは、前回までのまとめから始まり、「義」は自分の正義を本質としなさいと説き、貧しくても学問を楽しく学んでいる。「利」は利益ばかり追求すれば怨まれると説き、露骨に利益を誘導してはいけない。「富」は、経済的豊かさと社会的地位が高さであるが、正当なやり方で得たのではないのならその場にいるべきではない。「教」は善人を挙げて能力が劣った人を教えれば仕事に励むだろうと説いている。「政」は兄弟仲良くしていれば政治に良い影響を及ぼすと説いている。などと講義いただいた。

歴史に学ぶ「水戸学」前期

〈栗原公民館〉

○開設趣旨 徳川御三家でありながら倒幕に加担する思想となった「水戸学」について学ぶ。

○期間 平成28年11月18日～12月9日 毎週金曜日（計4回）

○時間 午前10時～正午（計8時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人

○参加者 81人 参加延べ人数267人

○講師 元玉川学園女子短期大学教授 小澤 富夫

○事業内容 幕末の開国論について考える。

第1回 水戸学の尊皇論（天皇国体論）

第2回 米国艦隊長官ペリーの来航の実態

第3回 幕府の開国と尊皇攘夷派の対立

第4回 混乱の時期、幕府海外視察団の派遣

○まとめ

日本の国体は時代によって変わり、明治憲法では、死ぬまで天皇となっている。天皇は国体の中心なのか、国体の本質は何かについての講義から始まり、尊皇攘夷思想、ペリー来航と開国の経過、国体論、人間論について開港までのいきさつを詳しく、分かり易く講義をいただいた。

後編では水戸藩主徳川斉昭の思想、藤田幽谷『正名論』、会沢正志斎『新論』などについて講義をいただく。

受講者からは、「小澤先生の講座で元気をもらう。」、「難しい歴史を分かり易く講義していただいた。」などの意見があった。

小澤先生の講義を楽しみにしている受講者が多く、後編の講義も楽しみである。

歴史に学ぶ「水戸学」後期

〈栗原公民館〉

○開設趣旨 徳川御三家でありながら倒幕に加担する思想となった「水戸学」について学ぶ。

○期間 平成29年2月3日～2月24日 毎週金曜日 (計4回)

○時間 午前10時～正午 (計8時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人

○参加者 79人 参加延べ人数247人

○講師 元玉川学園女子短期大学教授 小澤 富夫

○事業内容 昨年11月の前編に続いての講義。水戸学の主要な著作である藤田幽学「正名論」(寛政2年、1791年)と会沢正志斎「新論」(文化8年、1825年)を取り上げた。

○まとめ

今回は、「主要な著作を読む」と題して講義いただき、「正名論」では、藤田幽谷は歴史の正しい事、孔子が弟子にこうの方がいいと教えた事を書いている。

会沢正志斎は、藤田幽谷の弟子で、「新論」では、日本の国家の正しい在り方、日本の国体をどう考えるかについて書いていて、国体の本質はどういうものか、水戸学がもう一步現実的になる。

受講者は、講師の熱意を感じ、熱心に受講していた。

受講者からは、「小澤先生の話は知識の源泉だ。」、「小澤先生の講義は聴講している人をぐいぐいとひきつける魅力がある。」などの意見があった。

今回、講義いただけなかった佐久間象山「省譽録」、吉田松陰「投夷書」「道泉竜助宛書簡」等について、来年度の「コスモス学級」の中で講義していただく予定である。

歴史街歩き

〈栗原公民館〉

○開設趣旨 「論語を学ぶ」の受講者を対象に孔子に関連する湯島聖堂や、その周辺の街を散歩しながら歴史や史跡について学ぶ。

○期間 平成29年3月9日（木）

○時間 午後1時～午後4時（計3時間）

○対象・定員 「論語を学ぶ」の受講者の中・20人

○参加者 21人

○講師 学習院大学講師 林 東洋
東京女子大学非常勤講師 金子 元

○事業内容 午後1時にJR御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口に集合し、ニコライ堂（東京復活大聖堂）、湯島聖堂、神田明神、湯島天神、下町風俗資料館等をめぐり、午後4時に上野公園西郷隆盛像前で解散した。

○まとめ

論語の番外編として受講者と都内の歴史散歩をして先生との交流を図る目的も兼ねて実施。当日は、天気も良く歴史散歩をするのに丁度良い日となる。ニコライ堂では、約30分に渡り、案内人に聖堂の内部等を説明していただいた。湯島聖堂、神田明神では、講師の林先生・金子先生に沿革などを説明していただく。湯島天神では宝物殿に入り、公開中の梅の絵画と掛け軸等を約20分見学した。下町風俗資料館では、大正時代の古き良き江戸の風情をとどめる東京・下町の街並みを再現していたり、下町地域にゆかりの資料、生活道具や玩具等の資料を展示しており、参加者は懐かしく興味深く見学していた。

四季の料理 ～夏の薬膳料理～

〈 栗原公民館 〉

- 開設趣旨 四季折々の薬膳料理を学ぶ。
- 期 間 平成28年5月24日（火）
- 時 間 午前10時～午後0時30分（計2.5時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 15人
- 材料費 800円
- 講師 ままごとキッチン 前田 純子 アシスタント 工藤公子
- 事業内容 薬膳料理とは何かを学び、旬の食材を使った体にやさしい薬膳料理を作る。
- 本日のメニュー
- ・春キャベツともやしのサラダ
 - ・鶏となすのレモン蒸し
 - ・くずし豆腐の温泉井
 - ・そら豆のスープ
 - ・紅茶オレンジ

○ま と め

内容は、体内にたまった老廃物を解毒し夏バテ防止野菜を使った体にやさしい薬膳料理について学んだ。紫外線をたくさんあびて肌を潤す効果がある豆腐やむくみによいもやし血や気のめぐりもよくなるミョウガやパクチーの食材や美容にききめがあるハトムギなどの材料でした。舌をみて体の健康状態がわかり鏡を持って舌を見て、健康状態を確認しあった。薬膳も作ってみると簡単で今回の講座が初めていう方も多かった。次回も薬膳料理を作りたいと希望される方もいた。15名の定員のうち15名の申し込みがあった。

2名のキャンセルがあり13名だったが、講師の人気もあり大好評に終わった。

四季の料理 ～冬の薬膳料理～

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 四季折々の薬膳料理を学ぶ。
体をあたため、免疫力を高める季節の野菜を使った体にやさしい薬膳料理について学ぶ。
- 期間 平成28年11月17日(木)
- 時間 午前10時～正午 (計2時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 14人
- 材料費 800円
- 講師 ままごとキッチン 前田 純子 アシスタント 工藤公子
- 事業内容 夏の薬膳料理に引き続き、風邪予防、免疫力アップなど冬の薬膳料理を学ぶ。

本日のメニュー・ごはん

- ・スープ
- ・大根とネギ油和え
- ・サツマイモとかぼちゃと豚肉のおいしい蒸し
- ・里芋のシフォンケーキ

○まとめ

申し込みから応募が殺到し応募者数をうわまわった。当日、キャンセルが1名出て14名だった。

グループを3班に分けて、時間のかかる里芋シフォンケーキから生地を作りオーブンで焼いた。ご飯を炊き材料を洗い大根、サツマイモ、かぼちゃなどの材料を切って調理にとりかかった。

里芋のシフォンケーキは、もちもち感のある食材を生かした健康を考えたケーキだった。

新座の野菜を使った体にやさしい味の料理が出来あがり受講者からおいしいという声が多く満足のいく薬膳料理に仕上がった。

来年の薬膳料理も是非参加したいとの希望があった。

「歌の宅配便」コスモス学級公開講座

〈栗原公民館〉

○開設趣旨 コスモス学級のPRを兼ねて公開講座にし、懐かしい歌声で
良き時代に思いをはせる。

○期 間 平成28年9月30日 (金)

○時 間 午前10時～正午 (計2時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人

○参加者 61人

○講師 師 「歌の宅配便」 広井 顕真

○事業内容 今年のテーマ「花の歌 特集」

「花の歌」を特集し、最後にオリジナル曲「さよならも云えずに」「京の夕暮れ」「がんばれ！！未来（あした）のあなたに」を演奏。軽妙なトークを交え2時間たっぷり歌い、受講者も一緒に歌う曲も2曲用意し共に盛り上がった。

曲目は月光仮面は誰でしょう・おぼろ月夜・ふるさと・東京ラプソディー・美しい十代・花の首飾り・ブルーシャトー・白い色は恋人の色・知床旅情など

＜オリジナル曲＞・さよならも云えずに・京の夕暮れ・がんばれ！！～未来のあなたに

○ま と め

毎年、高齢者学級「コスモス学級」の最初に公開講座形式にして、広くコスモス学級をアピールするコンサートである。

懐かしく共感できる曲が多く、オリジナル曲や皆で一緒に歌う歌もあり、曲の合間に入る話題が楽しく引きつけられた。各地に歌を届けている広井さんのコンサートを楽しみにしている人が多い。

当初108人の申込みがあったが、61名の参加であった。

「江戸庶民の食事…江戸前の鮓と屋台」コスモス学級公開

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 高齢者のためのコスモス学級を市民に知ってもらい、江戸庶民の食事を通して、高齢化社会の生き方を学ぶ
- 期間 平成28年10月7日・14日（金）（計2回）
- 時間 午前10時～正午（計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人
- 参加者 85人 参加延べ人数147人
- 講師 元玉川学園女子短期大学教授 小澤 富夫
- 事業内容 コスモス学級の2回目と3回目を公開講座とし、「江戸庶民の食事…江戸前の鮓と屋台」を取り上げた。
テーマ 江戸の食文化
 - (1) 食の基本
 - (2) 旬の味「江戸っ子」の初物
 - (3) 江戸で生まれたグルメ
 - (4) 江戸の店・見世〔店売りと屋台店（棒手振り）〕
 - (5) 将軍と庶民の食事
 - (6) 庶民の食事
- まとめ

小澤先生の講座には毎回多くの受講者が集まるが、コスモス学級への申込みが84名、公開講座29名で、合計113名の申込みがあった。

1回目は江戸時代の食文化について、開国の時代やネパールに行く話も織り交ぜて、江戸時代は2食しか食べなかった等現在の食文化の違いを学んだ。

2回目は江戸時代外国から入ってきた食、将軍と庶民の食の違いなどについて、先生の健康の秘訣やネパールの食事の話も織り交ぜ、現在に通じる食文化について学んだ。

2回を通して、教科書では学べなかった「江戸の食文化」について学ぶことができた。

水彩画を学ぶ 清瀬市郷土博物館周辺の風景

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 水彩画のなかでも特に風景画について学ぶ。
- 期間 平成28年5月26(木)
- 時間 午前10時～午後1時 (計3時間)
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 11人
- 講師 水彩画家 南雲 義男
- 事業内容 清瀬市郷土博物館周辺の風景を描き、2時間30分後に集まり、全員の作品を並べて、講評を聞いた。

○まとめ

3日前までは、雨の予報も出ていたので、開催が危ぶまれたが、当日は雲が多いながら晴れていて、博物館近くのけやき通りには、木陰がありスケッチしやすい天候となった。

13名の申込みがあったが、2名欠席となり、11名が参加した。はじめに南雲先生から基本的な描写の位置決めについて話を聞き、その後それぞれ自分が気に入った場所を選んでスケッチした。先生は博物館前やけやき通りを回りアドバイスしてくれた。

チラシに集合場所である博物館の地図を掲載しなかったため、集合場所への行き方がわからないといった事前の問い合わせや当日遅れて来た人がいた。館外で集合する場合は、地図を掲載する必要があると実感した。

12時30分からひとつひとつの作品について講評してもらった。

「雰囲気がよく出ている」、「構図もよい」、「楽しんで描いている」など作品の良い点を指摘し、課題や改善方法についても丁寧に教えていただいたので、今後のレベルアップにつながるものであった。

参加者からは、「先生がやさしく指導してくれた」、「また参加したい」などの意見もあり、短時間で2枚描いている人や、もう少し時間がほしい人もいたが楽しくスケッチしていた。

水彩画を楽しむ 東久留米市浄牧院周辺の風景

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 趣味で水彩画を始めようとする方又は、すでにやっている方についてアドバイスしていただき、より技術を追求し、生きがい、仲間作りを目指す。

- 期間 平成28年11月10(木)

- 時間 午前10時～午後1時 (計3時間)

- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人

- 参加者 14人

- 講師 水彩画家 南雲 義男

- 事業内容 東久留米市浄牧院周辺の風景を描き、2時間半後に集まり、全員の作品を並べて、講評を聞いた。

○まとめ

当日は、曇り空で時折日差しも出たが、寒い日だった。

はじめに南雲先生から初めての参加者のために基本的な描写の位置決めについて話を聞き、その後気に入った場所を選んでスケッチした。先生は浄牧院境内や浄牧院前で参加者に描き方や色の使い方などを丁寧に指導してくれた。

12時30分からひとつひとつの作品について講評してもらった。

「遠近感がよく出ている」、「難しい構図だがよく描けている」など作品の良い点などの評価や改善方法についても丁寧に教えていただいた。

参加者からは、「説明や指導がよかった」、「大人数ではなかったのも、講師の指導が受けられた」などの感想があった。

もう少し時間がほしい人もいたが、皆、楽しくスケッチをしていた。

コスモス学級

〈栗原公民館〉

- 開設趣旨 おおむね55歳以上の方を対象に、生きがい発見の場とする。
- 期間 平成28年9月30日～11月11日 毎週金曜日(計7回)
- 時間 午前10時～正午(館外学習午前8時45分～午後4時30分)
(計19時間45分)
- 対象・定員 市内在住又は在勤のおおむね55歳以上の方・100人
- 参加者 72人 参加延べ人数 312人
- 参加費 折り紙材料費 50円
館外学習 65歳以上1,550円 65歳未満1,710円

○事業内容

回	月日(曜)	内容	講師
1	9月30日(金)	公開コンサート「歌の宅配便」	広井 顕真
2	10月7日(金)	公開講座 「江戸庶民の食事・・・ 江戸前の鮨と屋台」	小澤 富夫
3	10月14日(金)	公開講座 「江戸庶民の食事・・・ 江戸前の鮨と屋台」	小澤 富夫
4	10月21日(金)	折り紙「干支の酉を折る」	本多 秀子
5	10月28日(金)	笑いは脳のマッサージ ～ボケないためのコツとツボ～	北沢 正嗣
6	11月4日(金)	アマゾン流域の森の生き物たち	山口 就平
7	11月11日(金)	館外学習 サイボクハム(絵付け 体験)入間市博物館	館外学習

○まとめ

毎年、最初に公開講座形式にして、広くコスモス学級をアピールするコンサートで、楽しみにしている人が多い。第2・3回は人気の小澤先生の講座で公開講座としたため、88名が受講した。第4回の折り紙は、翌年の干支を折るため、これを楽しみにしている受講者も多い。今年は「酉」を折った。この回に館外学習の抽選を行った。第5回は、北沢先生の笑いを誘う話術。脳の記憶とボケないためには脳のくせをつかみ、笑うことで脳のマッサージになる。最後に先生の受診された認知症検査について紹介していただいた。

第6回はコロンビア、ブラジル、ペルーの3か国を4ヶ月あまりかけて昆虫を採取した話をしていただいた。アマゾン流域しか生息しない蝶や昆虫の標本を持参されての講義で、採取の仕方や標本の作り方なども説明していただき、受講者は、初めて見る蝶や昆虫の標本に見入っていた。最終回の館外学習は、中型バスの定員25名に参加者を限定し、日高市にある「サイボクハム」、入間市にある入間市立博物館に行く。サイボクハムでは、園内ガイドツアーや皿に絵を描く「絵付け体験」を行い、入間市博物館では「お茶の世界」などについて学んだ。